

オーブン カレッジ

この8月頃から突如、コメ不足が言われるようになってしまった。空になったスーパーのコメ売り場の棚やお客さんの声が、連日に渡って報道されています。政府の見解では、新米の出回る秋頃には解消の見通しというのですが、現在、不安が治まる気配はありません。令和の米騒動とも言われていますが、ふと思い出したことを書きたいと思います。

1993(平成5)年、冷夏に伴い、コメの不作

令和の米騒動とSNS時代

るや否や、コメを探し求め、思惑買ひなど、パニックが起きます。当時、政府の対応は後手にまわり、年末まで大きく翻弄(ほんろう)された社会的事件になりました。

当時、コメは全面輸入禁止の品目でした。米騒動は収まる気配がなく、政府は緊急輸入に踏み切ります。後々、これが契機になって、コメは輸入することができ、自由化品目となります。平成の米騒動ですが、最終的にどのような理由で収束したのかはつきりしません。翌年には作柄が回復することが明らかとなったことを指摘する旨もあるのですが、やはり抱えて

じさせない方法は、はつきりしています。それはモノがあることを実物で、ふんだんに見せることです。これがパニック的な行動を鎮めることが知られていました。

銀行制度ができて間もない頃、銀行はあそこが危ないという噂で、よく取り付け騒ぎが起きました。たくさんの方が預金通帳を持って、預金の引き出しに走るのですが、通常の銀行業務ではすべての人に対応できる現金を用意しているわけではありません。「今日は払い戻せない。明日、来てください」という説明が、人々の不安を増幅し、その噂が広まります。それを聞きつけた人が、確信を持ってさらに取り付けに走るといって、最後は問題のない銀行まで行き詰ることが多々ありました。

パニック行動

鎮めるには

が明らかとなりました。思惑が一斉に働き、すぐに店頭からコメの姿が見えなくなりま。それが報道され



大学大学院
経済学研究科准教授
名古屋市立大学
澤野 孝一朗

いた在庫が市場に出回るようになったことが大きくあります。

怖いのは不足よりパニックとも言います。モノがないことがはつきりしていれば、他の物で代替するようになります。あるのかないのか判然としない状態、これが人々の不安を増幅させます。それを確信させる映像やニュースが流されると、それが強化され、行動に駆り立てます。これがパニックです。パニックを生

このパニックを抑える方法のひとつとして、カウンターから見える場所に札幌の山を積み、預金者に見せるといのがあります。これが「ああ急がなくても大丈夫」という安心感を与えます。SNS時代です。不安をあおるようなニュースの方がウケがちです。コメの実物、米俵を見せる方法はあるのでしょうか。そうでなければコメの自由輸入、いつでもどこでもお金さえあれば解消させるのか。平成の再現に思ったことでした。

さわの・こついちろう 応用
ミクロ経済学。大阪大学大学院
経済学研究科博士後期課程修
了。博士(経済学)。1971
年生まれ。